

県の2021年度建設事業関係功労者・優良工事知事表彰・知事奨励賞

優良工事40件、奨励賞10件に栄誉



功労者の山本幹夫氏



建設事業関係功労者による記念撮影

災害対応や防疫活動にも深く感謝

県は20日、宇都宮市内の県総合文化センターで2021年度の建設事業関係功労者、優良建設工事及び優良建設工事技術者表彰式を開催した。本年度は、県が発注し20年度に完成した請負額500万円以上の災害復旧を含む建設工事1948件の中から、知事表彰として建設事業関係功労者10人と優良建設工事40工事(45者)、優良建設工事技術者54人を表彰。あわせて、優良建設工事知事奨励賞に10工事(10者)を表彰し、先進的な取り組みをたたえた。

この日は福田富一知事と県関係職員のほか、来賓として県議会議員および県建設業協会の谷黒克守会長、県設備業協会の小牧伸敏会長、県舗装協会の岩澤理夫会長、県測量設計業協会の堀江育男会長、県造園建設業協会の高梨道太郎会長、県宅地建物取引業協会の青木亨会長、県建築士会の柴田道夫会長、県建築士事務所協会の山崎良知副会長、県建設業職種別団体連絡協議会の町田卓大会長らが駆けつけた。

式典はまず、建設業、不動産業または住宅産業などに継続して従事し、優れた功績で業界の発展に寄与した建設事業関係功労者を表彰。代表として県管工事業協同組合連合会理事の山本幹夫氏(宇都宮ヤマイチ代表取締役)が登壇し、福田富一知事から表彰状を受け取った。

続く優良建設工事の表彰は各部門を代表して山和技建が、知事奨励賞は同じく丸政建設が登壇し、代表して表彰状を受領した。優良建設工事技術者は、54人を代表して大森啓汰氏(川上建設)が表彰状を受け取った。

表彰状授与の後、福田知事は建設事業関係功労者をはじめ各受賞者に対し「永年にわたって本県建設業界の発展に寄与され、先進的な取り組みを積極的に推進し、優れた技術・技能を持って建設工事の施工に貢献してこられた」として、日ごろからの努力に改めて敬意と謝意を表した。

続けて、鳥インフルエンザや豚熱への対応、新型コロナウイルス感染症防止対策への協力にも感謝するとともに、「今後も県は、災害時の緊急対応強化をはじめ建設業界における働き方改革の推進、生産性向上への取り組み、担い手の確保・育成など、直面する様々な課題の解決に向け、一層の連携を図ってまいりたい」と述べ、この受賞を契機にさらに躍進して本県の発展に向けて活躍することを祈念した。

来賓からは、県議会の阿部寿一議長が「受賞者は日ごろから公共事業の誠実かつ適正な施工に加え、本県建設業界の健全な発展に格別な尽力を賜っている。また、鳥インフルエンザや豚熱への対応にも多大なるご協力を頂いた」と感謝した。

また「建設業界は社会資本整備を通じて、住民生活の向上はもとより地域経済の発展や雇用の維持にも大きく貢献している。自然災害の発生時には初動対応から復旧作業に至るまでの現場の最前線で社会の安全・安心を確保し、地域創造の担い手としても大きく期待されている」と評し、「県議会としても社会資本の整備促進や維持管理はもとより、建設産業の活性化に執行部と連携して全力で取り組んでいくので、皆様には災害に強く、安全・安心な栃木の基盤づくりになお一層のお力添えを」と祝辞を述べた。